

第60回 新型コロナウイルス感染症対策本部会議（要旨）

日時：令和5年3月10日（金）16：00～

場所：401 会議室

【協議事項】

防災監：これより新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催する。

本日は、来週月曜日からマスク着用が個人の判断に変更される国の方針に合わせ、市の方針についても協議する。前回の会議では、公共施設について一部収容人数の規制もあったが、すべて解除した。

市公共施設利用では現在も、マスク着用となっているが、国の方針に合わせ、それらを解除するとともに、併せて、検温や窓口、事務室におけるパーテーション、公共施設利用者名簿などの取り扱いについて、全庁的に対応を協議する。

まずは本日の協議にあたり、防災交通課より事務局案を作成した。担当課より説明を。

防災交通課長：3月13日以降のマスク着用の考え方は、全般的な方針としてマスク着用は「個人の判断」となり、本人の意思に反してマスクの着脱を強いることのないよう配慮することとなっている。ただし、原則、マスク着用は個人の判断となっているが、医療機関を受診する時や、医療機関・高齢者施設の訪問時、通勤ラッシュ時の電車やバス内などについては、マスクの着用が推奨されている。続いて、学校等の対応は、3月末まで引き続き適切な着脱のお願いとなっている。また、子ども未来園、幼稚園等については、「2歳児以上は、マスクの着用を一律で求めない」となっていたものが、「マスクの着用を求めない」に修正されている。

これを受け、今後の公共施設の対応や全般的な対応について、事務局案を作成した。

まず、公共施設の取り扱いについて。施設を利用する市民の皆さんには、マスク着用も含め、特に制限を設けない、コロナ前と同様な利用方法にしていきたいと考えている。また、運用面では、市民の皆さんに現在ご負担をかけている参加者名簿の提出、併せて利用時に、入口での検温についても行わないこととする。

しかし、基本的な感染予防については、コロナが終息した訳ではないので、引き続き必要と考え、施設入口での体温測定器や消毒用アルコール、会議室等での二酸化炭素測定器については、5月7日まで設置と考えている。

続いて、コロナ対策における全般的な対応について。

それぞれ各課の個別な項目について、いろいろとあるかと思うが、全課または複数の課に関するものについてピックアップをした。

① 職員のマスクの着用について

国の方針に従い、個人の判断に委ねることになるが、市の窓口や訪問先などで、重症化リスクの高い高齢者や妊婦、乳幼児など様々な年齢層の方と対応することとなる。そのため、相手となる市民や、職員本人の安心安全のため、市民応対時には、庁舎内外問わずマスクの着用を継続したい。

② 事務スペースや窓口カウンター、会議室のパーテーションについて

撤去をしていきたいと考えている。ただ、事務スペースについては、数が多いことや、撤去した後の置き場所の問題もあると思うので、4階、5階といった、市民があまり窓口に来ない

場所から順次撤去していき、最後に1階のフロアと考えている。

③ 待合イスについて

現在、待合イスを一つ飛ばしで座るよう制限をしているが、その貼り紙等を撤去し、自由に使用してもらうことにする。

④ 会議での職員のマスク着用について

職員の窓口対応と迷うところはあるが、部屋の中での一つの会議ということで、委員、職員ともにマスクの着用は個人の判断とする。

⑤ 事務カウンターの清掃・消毒について

事務カウンターの清掃・消毒については、窓口でのパーテーションはなくなるものの、コロナでなくても清掃は必要と考え、引き続き継続でと考えている。

以上のように考えている。最後に業務とは関係ないが、歓送迎会の時期も近づいていることもあり、職員からの問い合わせが来ると予想されるので記載している。各職場の歓送迎会については特に制限なしにしたいと考えている。この後、情報ネット掲示板にて、今回の対応変更についてお知らせを掲載する予定。

防災監：この事務局案で進めていきたい。ここまでで何か質問等はあるか。

子ども・子育て監：別紙3以降に警戒領域での感染防止対策とあるが、施設の貼り紙はどうすればいいか。

防災監：警戒領域は5月7日までのため継続して貼っておく。

教育部長：カウンターの消毒は毎日実施ということでよいか。

防災監：作業としては大変だが、1階の窓口カウンターはコロナ前から朝などに清掃をしていたためその状態に戻すということで継続としている。

福祉課長：1階は来客が多い。市民の中にもマスクをしている人、していない人が混ざってくるということで、窓口のパーテーションについては、職員から置いて欲しいという意見がでている。

防災監：現場の意見として把握した。判断材料とさせてもらう。その他は。

消防長：問題なし。

教育部長：事務カウンターの消毒を毎日というのは効果があるのか。しかし、1階と4階では状況が違うため、一度考えても良いのではないか。

子ども・子育て監：消毒は毎日でなく、週に一回とかで良いのではないか。

都市整備部長：市民の方にマスクを委ねられていることから、パーテーションは設置のままでも良いのでは。消毒については、1日に1回くらいは必要なのではないか。

都市整備部次長：特になし

経営部長：事務カウンターの清掃は意味があるのかは疑問。清掃自体は問題ないと思うが、薬品を使用して行うことは不要ではないか。

議会事務局長：カウンターのパーテーションは5月7日まで設置で良いのではないか。

防災監：パーテーションがあると、清掃範囲が増えるのではないかと考えたが。

議会事務局長：市民の方も感染しているのか、していないのが症状がわからない中で、マスクをしていない人が喋られると、こちらがマスクをしていても大丈夫なのかと疑問に思う。5月7日の5類に下がるまでにコロナになってしまうと今までどおり5日～7日休むことになる。来

客者のマスク着用が任意となったことから、できるだけ接触を避ける形で対応をとってほしい。

防災監：パーティションについては、執務室のものは不要かと考えているが、窓口のものについては、今現場の声を聴いて考えたいが、何か意見はないか。(特になし)

副市長：残したほうが良いという意見があるのであれば、残したほうが良いのではないか。

市長：普段の生活にこれから戻していきたいと考えているため、職員の意見を尊重しながら不要なものは、できるだけ無くしていく方向で考えたい。

副市長：窓口のパーティションは残すということで。また、事務カウンターの清掃についてだが、薬剤は使用しなくてもいいため、拭き掃除は継続していくように。

市長：そういう事務的な仕事量も減らしていくべきだと思うので、マスクしてない方が来た時のみ清掃をするなど、柔軟に対応をして欲しい

教育長：市役所内の対応は市民の最前線で仕事をする現場の声を尊重するべき。執務室は取り除く、窓口は残す方向性で問題ないかと。

学校についてだが、市長の思いとしては、なるべくマスクを外す生活に戻していきたいとのこと。学校では、すでに、4月からマスクを外す方向で通知している。市長の方針もあるため、学校各所に6点ほど確認したため、ここで報告させてもらう。

①学校現場では「4月1日以降」マスクの着用を求めない。

②「3月13日以降」犬山市では市民にマスクの着用を求めない対応をすることから、できる限り学校現場でもマスクの着用を求めない場を増やしてほしい。

③登下校及び体育の授業、部活動ではできる限りマスクを外して活動するよう指導する。

④卒業式については基本的にマスクの着用を求めない方針

⑤マスクを着用する者、しない者がマスクの着用を巡ってトラブルにならないように、お互いの考え方・在り方を認め合うような指導をする。

⑥何よりも、校長先生はじめ教職員がマスクを外す場を増やして、その姿を児童生徒に見せて、「マスクを外してもいいんだ」という意識を高める。

以上の6点を学校現場へ10分ほど前に確認した。

防災監：その他ご意見は。

教育部長：施設での飲食については、制限なしとしてよいか。

防災監：アクリル板もしくは一定の距離を保てばよしとされている。

副市長：できるだけ普通の生活に戻っていく方向で考えてもらえればと思う。

防災監：では、事務局案から、5月7日までは窓口のパーティションは残すに変更する。消毒については、コロナ前の通常清掃で進めていきたいと思う。本庁にはパーティションがかなり多くあるため、総務課と調整しながら撤去を進めていく。

今出た内容を盛り込み市民に周知を進めていく。その他はないか。(意見なし)

では、これで本部会議を終了とする。